

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 高齢者の肺炎予防について	【趣旨説明】 新型コロナウイルス感染症の取扱いが感染症法の5類へ移行し、新型コロナに感染したと聞いても驚かない時代となりましたが、コロナ禍以前から、肺炎は高齢者にとっては大きな問題でした。令和3年の総務省統計局の調査によると、65歳を超えると、肺炎による死亡率は急激に上昇し、肺炎による死亡者の98%が65歳以上の高齢者であるとの数字が示されています。肺炎で亡くなる人は、国内では年間約12万人と推計されており、誤えん性肺炎と合わせると、老衰を抜いて死因第3位となります。今後、超高齢社会を迎えるに当たり、肺炎に対する対策は、より一層重要になってくるのではないかと考えます。 この肺炎を起こす原因として最も多いのが、細菌やウイルスなどの病原微生物の感染ですが、その中でも一番多いのが肺炎球菌と言われていいます。肺炎球菌は、主に小児の鼻や喉に存在し、せきやくしゃみで周囲に飛び散り、それを吸い込んだ人へと広がります。免疫力の低下した人などが肺炎球菌に感染すると肺炎になることが多く、高齢者の3%から5%の人の鼻や喉の奥にも肺炎球菌が住み着いていると考えられており、こうした人が風邪やインフルエンザをきっかけに、免疫機能の低下や、誤えんによって食べ物や唾液と一緒に肺炎球菌を気管に吸い込んでしまうと、肺炎を起こしやすくなります。 2023年9月には、60歳以上の成人を対象としたRSウイルスワクチンが日本で承認されました。RSウイルス感染症は、呼吸器合胞体ウイルス感染症の略で、風邪症状を伴う呼吸器感染症として知られております。2歳までにほぼ100%の人がこのRSウイルスに感染し生涯を通じて繰り返し感染する可能性があります。加齢や基礎疾患などで免疫力が落ちた高齢者が感染すると、重症化して肺炎になることが多いとされております。また、RSウイルスは飛まつ感染や接触感染で広がるため、病院や介護施設など、抵抗力の落ちた高齢者が多く閉鎖された空間では、集団感染のリスクが高いと言えます。 しかしながら、RSウイルス感染症に関しては、これまでは有効なワクチンも治療薬もないため、PCR検査でウイルスの検出が行われない限りは原因が判明しないということもあり、あまり知られていないのが現状です。適切な診断の機会も少なく、肺炎に至る原因感染症としては見逃されてきたウイルス感染症と言っても過言ではありません。RSウイルスワクチン接種は治療法のないRSウイルス感染症に対抗する唯一の予防法と言えますが、現段階では、任意接種のワクチンとなるため、接種費用は全額自己負担になります。少しでも高齢者の皆様が接種しやすいように、本町として、RSウイルスワクチン予防接種費用の一部助成を検討してはどうかと考え以下4点の質問をさせていただきます。

	【質問事項】 ① 高齢者の肺炎による死亡の現状は、いかがですか。 ② 高齢者への肺炎球菌及びインフルエンザの各ワクチンの公費助成の内容と接種状況はどのようなのですか。 ③ 本町における高齢者、新型コロナ、インフルエンザ、肺炎球菌とともに、RSウイルス感染症についても、周知と感染予防への注意喚起を行ってはどうか。 ④ 少しでも高齢者の皆様が接種しやすいように、本町として、RSウイルスワクチン予防接種費用の一部助成を検討してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。
--	--